

MEXiKOKESHi

2016.12.10 sat - 2017.4.16 sun
MIYAGI ZAO sun

メキシコ×こけし=メキシこけし

みやぎ蔵王こけし館



【主催】CHIDO PROJECT / みやぎ蔵王こけし館 【協力】メキシコ観光局 / ゲレロ州文化芸術振興局 / オアハカ工芸機構 / メキシコ手工芸品振興基金 /

プエブラ州政府観光局 / ハリスコ州政府観光局 / グアナフアト州政府観光局 / アエロメヒコ航空 / 木彫工房ヒメネス / 津軽こけし館 【後援】メキシコ大使館

MEXiKOKESHi

2016.12.10 sat - 2017.4.16 sun
MIYAGI ZAO sun



チワワ州の「タオルティス焼」陶芸職人「Luis Quiroz」氏作
メキシこけし
木地・佐藤康広工人

メキシコ×こけし=メキシこけし

『メキシこけし』とは、「メキシコ」の様々な先住民族や工芸職人が絵付けをした「こけし」のこと。このプロジェクトは東日本大震災を契機に、実家が宮城県で、現在はメキシコ政府観光局に勤めるCHIDO PROJECT志田朝美氏により2011年冬に始動し、東北発祥の文化「こけし」に復興の願いを込めて作られた「メキシこけし」の展示会が日本各地で開催されています。

東北の伝統こけし工人が挽いた木地にメキシコの工芸職人達が日々の手工芸品作りの技法を活かした絵付けをする—そうすることで、東北のこけし文化とメキシコの伝統工芸双方の支援に繋がればとの願いも込められています。

宮城県とメキシコは、1614年に支倉常長率いる慶長遣欧使節団がメキシコを訪れたことから、仙台市とメキシコのアカプルコ市が姉妹都市提携を結んでおり、今年度で40周年を迎えるなど、交流が続いています。

本展を通じ、こけしと東北、そしてメキシコへの理解と関心を深めるきっかけとなれば幸いです。



志田朝美工人作
マリアッチこけし
3人組



西山敏彦工人作
ウチワサボテンこけし



佐藤康広工人作
カトリナこけし

チアパス州の漆器職人
Diana Perez氏作
メキシこけし
木地・新山吉紀工人

ハリスコ州の
Martin Itarra Morales氏作
メキシこけし
木地・佐藤康広工人



緻密で立体的な絵付けが特徴的なグアナフアト州の「セルビネ焼」(左)をまんた「Luis Quiroz」氏による「メキシこけし」(右)
木地・佐藤康広工人

みやぎ蔵王こけし館

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字新地西裏山36-135

TEL:0224-34-2385

開館時間:9:00~17:00(年中無休/最終入館16:30)

※12/29~1/3(年末年始)の入館は15:00まで

入館料:無料(常設こけし展示もご見学の場合は入館料300円が必要です)



おもて面 / 先住民族ウイチョルのSantos Hernandez氏による、電気で毛糸を貼り付ける手法によって彩られたメキシこけし
木地・佐藤正廣工人 [DESIGN] YOSUKE JIKUHARA(COCHAE)